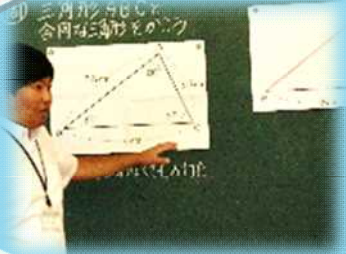
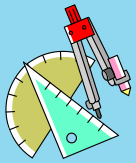


第 1 回

授業づくり講座 教材研究会

室戸市立室戸小学校

模擬授業提案



第 5 学年「合同な図形」山中 奨大教諭



【本時の目標】

合同な三角形をかくのに、すべての構成要素を調べる必要がないことを理解し、合同な三角形のかき方を考えることができる。

【本時では?】

既習の三角形の作図を想起させながら、合同な三角形のかき方を作図していく過程で合同な三角形が決まる条件について整理させ、全ての構成要素を用いなくても、三角形が一つに決まることに気付かせる。

リフレクション

これまで学習してきた作図などを全員で確認した後、模擬授業を通して、ねらいにせまることができるのかを話し合い、各ブロックに分かれ、代案を考えました。

【代案例】

- ・導入では、合同な三角形をかく際の構成要素(辺、角)を確認し、頂点Aをおさえてはどうか。
- ・課題は、「できるだけ少ない条件で合同な三角形ABCをかく方法を考えよう。」にしてはどうか。
- ・まとめは、「①、②、③が決まれば点Aが決まる。」にしてはどうか。(①、②、③は3通りのかき方)

各ブロックで話し合われたこと

ブロック協議内容

- ・本時の目標の吟味
- ・授業ゴールと本時の課題の対応のさせ方
- ・既習の三角形のかき方を捉え直すための工夫
- ・思考の節約を意識させる指導
- ・合同な図形の単元の意味



学習活動【言語活動】 支援・【評価】

合同な三角形をかく時、元々の△ABCの構成要素(辺、角)の確認  
三角形のかき方(底辺の長さ、頂点Aの決め方)を考えた

① 3辺の長さ  
② 1辺とその両端の角  
③ 2辺とその間の角

4 誰かめる  
が決まれば点Aが決まる

色、三角形、カード

合同な三角形をかくだけ  
かき方の数だけ

言葉  
二辺  
二角  
一辺二角

低学年

(1) 目標  
合同な三角形をかくのに、すべての構成要素を調べる必要がないことを理解し、合同な三角形のかき方を考えることができる。

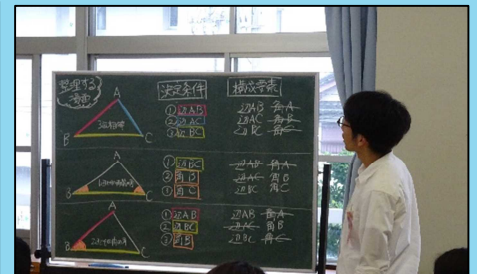
(2) 課題  
できるだけ少ない条件で合同な三角形ABCをかく方法を考えよう。

情報のない三角形提示→合同な三角形  
まずどこを知りたい? → どの、その理由  
あとどこが決まれば三角形

課題 頂点Aの決め方を考えよう。

つぶやき→見直し  
道具、着目録

中学年



M教諭による協議途中の板書

学習活動【言語活動】 支援・【評価】

数値なしで提示  
「かいて」→えんじ/B  
数値を書き入れる→合同な△ABC

① 全部  
数値入れる

② 途中で気づく  
全部いれるかな? (3,4年の既習を(これまで三角形をかいた母体はね)想起させよう) どうやってかいたかな?

3 学びあう  
課題 できるだけ少ない条件で合同な三角形ABCをかく方法を考えよう。

高学年

☆かいた三角形→合同か  
確認

① 3つの辺の長さ  
② 2つの辺とその間の角の大きさ  
③ 1つの辺の長さとその両はしの角の大きさ

振り返る

高学年



指導主事からの助言

- 三角形をかくということは、三点を決めるということ。
- 学びの積み上げの結果として、様々な要素が絡み合って、第5学年での「合同」の学習へ入る。第2学年では「長方形」「正方形」「直角三角形」、第3学年では・・・というように、各学年の学習内容の系統を踏まえ、第5学年では「合同」をどう見直していくのか、既習との差異を考えていく。各学年で学ぶこととの違いは何かを考えて指導する。

次回

平成 30 年 7 月 3 日 (火)  
13:45~  
授業研究会  
第 5 学年「合同な図形」